

館山市子育て支援施設の個別施設計画

令和3年5月策定

館 山 市

目 次

1 背景・目的

- (1) 背景 2
- (2) 目的・位置づけ 2
- (3) 計画期間 2
- (4) 対象施設 2

2 施設の現況

- (1) 施設の基本情報 3
- (2) 施設の運営状況 4～6
- (3) 施設の老朽化の状況と点検結果 7
- (4) 現状を踏まえた課題 8

3 施設整備の基本的な方針等

- (1) 将来の子ども的人数推計 9
- (2) 教育・保育の利用の見込み 9
- (3) 施設の規模・配置計画等の基本的方針 10
- (4) 施設別の基本的な方針 11

4 長寿命化の基本的な方針

- (1) 修繕等の基本的な方針 12
- (2) 建替・大規模修繕の基本的な方針 13
- (3) 施設の長寿命化の改修費（概算） 13

資料

- 1. 年次計画表
- 2. 改訂等履歴

1. 背景、目的等

(1) 背景

館山市の公共施設は、1960年代の高度成長期から第2次ベビーブームの1970年代（昭和40～50年代前半）に建設時期が集中しており、一方、1990年代以降の新たな施設建築は非常に少なくなっています。

これらの施設は、建設から30年以上経過した公共施設が全体の約8割に達し、今後は施設の建替えや大規模改修などに多額の費用が必要となります。

『第4次館山市総合計画』における将来人口の見通しでは、人口減少と少子高齢化が進展するとされており、これに伴い福祉・医療費の増加や税収減少など、厳しい財政状況となることが予測されます。

このような状況のなか、将来の人口規模や財政状況を見据え、中長期的な視点による施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に実施するため平成29年に『館山市公共施設等総合管理計画』を策定しました。

(2) 目的と位置づけ

「館山市子育て支援施設の個別施設計画（以下「本計画」という。）」は、前述の背景を踏まえ施設を総合的観点で捉え、既存の子育て施設等を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや大規模改修、長寿命化を目指し、詳細診断の実施時期を設定するなど、計画的に進めることにより、子育て環境を維持しつつ、コストの縮減と平準化を図ることを目的として、子育て支援施設に係る個別施設ごとの具体的な対応方針を示したものです。

また、本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づく個別施設計画（個別施設ごとの長寿命化計画）として位置づけます。

(3) 計画期間

本計画の計画期間は、2021年度（令和3年度）から2030年度（令和12年度）までの10年間とします。総合管理計画の計画期間である2017年度（平成29年度）から2036年度（令和17年度）までの20年間で2期に分け、本計画はその第1期分とします。なお、原則として計画期間の中間となる5年目（2025年度（令和7年度））に見直しを行うこととしますが、本市を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

(4) 対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画における施設分類の子育て支援施設（幼稚園、保育園、認定こども園、学童クラブ、元気な広場）とします。

2 施設の現況

(1) 基本情報

- ・施設名称、所在地、敷地面積、延床面積、築年数、構造など、当該施設の基本的な情報を記載する。

	施設名	所在地	敷地面積 ㎡	延床 面積㎡	階 数	建築 年	築年 数	構造	S56 新耐震	耐震改修 済又は新 耐震適合
幼稚園 6園	那古幼稚園	那古272	597	442	1	S61	34年	RC造	○	
	北条幼稚園	北条402-2	5,181	1,780	1	H28	4年	木造	○	
	館山幼稚園	沼47	5,071	1,042	1	S59	36年	RC造	○	
	西岬幼稚園	加賀名151	367	176	1	S58	37年	RC造	○	
	豊房幼稚園	大戸265-6	622	185	1	S48	47年	木造		○
	館野幼稚園 ※	山本1028	313	259	1	S54	41年	RC造		○
こども 園 3園	船形こども園	船形406-7	1,503	909	1	保S63 幼S58	32年 37年	RC造	○	
	房南こども園※	犬石1496	1,330	669	2	S55	40年	RC造		○
	九重こども園※	安東751	13,058	660	1	保S55 幼S56	40年 39年	RC造		○
保育 園 3園	純真保育園	那古986	1,973	618	1	S44	51年	木造		○
	中央保育園	北条606-1	1,293	508	1	S50	45年	木造		○
	館野保育園	山本1204	2,668	575	1	H6年	26年	RC造	○	

学 童 ク ラ ブ	船形学童	船形小学校校舎一部を活用								
	那古学童（専）	那古325	265.85	105.58	1	H29	3年	木造	○	
		那古小学校校舎一部を使用								
	北条学童	北条小学校校舎一部を使用								
	館山学童	館山小学校校舎一部を使用								
	豊房学童（専）	大戸255	701.54	91.09	1	H27	5年	木造	○	
	館野学童	館野小学校校舎一部を使用								
	九重学童	九重地区公民館を使用								
神戸学童（民）※		房南小学校校舎を使用								
元気な広場		北条740-1	1672.16	612.47	1	H21	11年	S造	○	

※印の施設は、他施設と一体構造のため、廃止等の場合は施設管理者との協議が必要

（専）学童専用施設あり。那古は専用施設と校舎を併用している。上段が専用施設の現況

(2) 運営状況等

	施設名	定員	入園児童数：実績（各年4.1）				
			H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2
公立幼稚園・こども園（短時間）	那古幼稚園	30	18	20	20	20	17
	北条幼稚園	180	136	135	145	137	124
	館山幼稚園	120	81	82	54	53	54
	西岬幼稚園	20	8	5	6	3	休園中
	豊房幼稚園	20	12	14	10	6	8
	館野幼稚園	30	30	29	16	8	10
	船形こども園	50	16	19	14	12	5
	房南こども園	30	16	21	19	10	15
	九重こども園	20	17	7	4	8	8
	計	500	334	332	288	257	241

私立	館山白百合幼稚園	200	62	68	61	62	67
----	----------	-----	----	----	----	----	----

公立保育園・こども園（長）	船形こども園	90	65	74	69	58	59
	房南こども園	70	49	52	51	59	55
	九重こども園	70	46	66	53	62	66
	純真保育園	100	97	88	98	91	87
	中央保育園	100	80	71	67	76	73
	館野保育園	60	79	69	65	60	67
	計	490	416	420	403	406	407

私立保育園	聖アンデレ保育園	60	56	57	52	53	53
	教会附属保育園	60	56	62	62	60	65
	ユネスコ保育園	75	66	72	70	64	61
	子育て保育園	20	23	17	17	15	12
	計	215	201	208	201	192	191

公立・私立保育園計		705	617	628	604	598	598
-----------	--	-----	-----	-----	-----	-----	-----

		定員 (R3)	学童クラブ・元気な広場 利用者数（各年5.1）				
			H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	R 2
学 童 ク ラ ブ	船形学童	30	27	30	31	32	31
	那古学童	55	31	48	49	55	55
	北条学童	130	87	120	128	138	136
	館山学童	60	37	47	54	60	65
	豊房学童	30	21	24	25	27	22
	館野学童	35	26	28	35	34	36
	九重学童	20	17	17	20	16	16
	神戸学童(民)	40	58	62	58	62	58
元気な広場(※1)		—	2, 273	2, 151	1, 705	1, 600	652(※2)

※1 月の平均来館者数

※2 R 2 は新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館等のため大幅な減少

運営状況等

令和5年4月1日現在、市内には子育て支援施設として、公立幼稚園が6カ所、公立保育園3カ所、公立こども園3カ所、私立保育園4カ所、私立幼稚園1カ所、公設学童クラブ7カ所、民設学童クラブ1カ所、元気な広場を開設しており、定員及び受入れ状況は別表のとおりです。

また、令和元年10月1日からスタートした幼児教育・保育の無償化制度により新たに公的支援の対象となった子育て支援施設として8カ所の民間の認可外保育施設があります。

■公立幼稚園・こども園（短時間児）の状況

公立幼稚園・こども園の短時間児の受け入れ施設は9カ所であり、そのうち西岬幼稚園は利用児童がいなかったため令和2年度より休園となっています。

9施設合計で定員500人に対して、令和2年4月1日現在の入園児数は241人、定員に占める割合は48%、市内の対象年齢児童（4・5歳児）総数に占める幼稚園の利用率は45%となっています。

近年、子育て世帯における共働き世帯の割合が高まっていること等の理由により長時間保育のニーズが高まっています。その結果、預かり保育事業を実施している北条幼稚園を除く、他の公立幼稚園、こども園（短時間児）の利用者数は減少傾向となっています。

■公立保育園・こども園（長時間児）の状況

保育園、こども園（長時間児）の入園者数は、平成28年度以降、公立、私立園を合わせて600人～700人の間で推移していますが、年々緩やかな減少傾向となっています。

公立6園の園児数の合計は、定員490人に対して、平成28年度以降平均410人（4月1日時点）であり、定員に対して平均80人の余裕がある状況となっています。

■私立幼稚園・認可外保育施設の状況

市内の私立幼稚園は1カ所が運営しており、定員200人に対して過去5カ年の平均入園児数は64人となっています。

令和元年10月の教育保育の無償化スタート後には、保育料、入園料の支給に加え、長時間保育が必要な家庭が利用する「預かり保育」も無償化の対象となりました。従来の公立保育園、こども園等の保育施設に加え、私立幼稚園も保育の受け皿としての大きな役割を果たしています。

認可外保育施設については、従来は企業の従業員向け保育施設としての役割が主でしたが、無償化制度スタート後には、従業員の子どもだけでなく、一般の子どもの受入を行う施設もあり、保育の受け皿としての役割を担っています。

■学童クラブの状況

学童クラブは就労等により昼間保護者のいない家庭の小学生児童に対し、放課後等に適切な遊びや生活の場を提供しています。公設学童クラブ7カ所、民設学童クラブ1カ所があり、定員は400人となっています。

学童クラブ利用者は1年生から3年生の児童が全体の約8割を占めています。また、低学年児童では小学校在籍児童数に対し、約4割の児童が学童クラブを利用しています。

学童クラブの利用数は平成27年度以降、市全体で増加傾向となっており、小学校在籍児童数に対する利用率についても年々高まっています。

■元気な広場の状況

元気な広場は保護者や子どもの交流の場を提供し、相談や情報提供、世代間の交流を通じて子育ての不安解消を目的とし、市民のニーズに沿ったイベントや講座、相談等の事業を展開しています。子育て支援のネットワーク形成を促し、乳幼児と保護者の活動場所として定着しています。

来場者数は、年々減少傾向にありますが、安定した利用者数となっています。

(3) 老朽化状況と施設の点検結果

施設名	基本情報				点検結果					健全度	その他 特記
	建築 年	構造	延床 ㎡	階 数	屋根 屋上	外壁	内部	電気 設備	機械 設備		
那古幼稚園	S 61	RC	442	1	B	C	C	B	B	52	R 3 屋上防水工事 実施
北条幼稚園	H28	W	1,780	2	A	B	A	A	A	93	
館山幼稚園 上:保育棟 下:遊戯棟	S59	RC	867	1	A	C	B	B	B	67	
	S60	S	175	1	A	C	B	B	B	67	
西岬幼稚園	S58	RC	176	2	A	C	B	B	B	67	
豊房幼稚園	S48	W	185	1	A	A	A	B	B	94	
館野幼稚園	S54	RC	259	2	A	B	A	B	B	86	
船形こども園 上:保育棟 下:幼児棟	S63	RC	909	1	B	B	B	B	B	75	H24こども園化 改修
	S58	RC		1	B	B	B	B	B	75	
房南こども園	S55	RC	669	2	B	A	B	B	B	82	H20こども園化 改修
九重こども園 上:保育棟 下:幼児棟	S55	RC	660	1	B	B	A	B	B	84	H24こども園化 改修
	S56	RC		2	A	C	B	B	B	67	
純真保育園	S44	W	618	1	B	B	B	B	B	75	・津波危険区域 ・3棟雨漏りあり
中央保育園	S50	W	508	1	B	B	B	C	C	66	
館野保育園	H6	RC	575	1	C	B	B	B	B	72	
那古学童	H29	木造	105.58	1	A	A	A	A	A	100	
豊房学童	H27	木造	91.09	1	A	A	A	A	A	100	
神戸学童	房南小学校校舎の一部				A	A	A	A	A	100	
元気な広場	H21	S	612.47		A	A	B	A	A	91	R4長寿命化部位修繕（床 改修、排水原水槽設備改 修

評価	目視による評価 【屋根・屋上、外壁】	経過年数による評価 【内部仕上げ、電気設備、機械設備】
A	概ね良好	20年未満
B	部分的に劣化(安全上、機能上問題無)	20～40年未満
C	広範囲に劣化(安全上、機能上不具合発生の兆し)	40年以上
D	早急な対応要 (躯体の耐久性に影響あり、施設運営に影響あり)	経過年数に関わらず著しい劣化がある
健全度	・建物の5つの部位を、劣化状況4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標。 ・数値が小さいほど劣化が進んでいる ・部位の評価点：A:100点、B:75点、C:40点、D:10点	

(4) 現状を踏まえた課題

■老朽化等の現状

公立幼稚園・こども園・保育園の全12施設の多くは第2次ベビーブーム(1970年代)に対応するために整備され、これらの施設のうち、築30年以上経過施設が10施設あり、その内、6施設が、築40年以上経過しています。この中には児童施設の耐用年数とされる47年(減価償却資産の耐用年数等に関する省令)を超過している施設が2施設存在しています。

各施設の老朽化等の状況は前頁に示す点検結果のとおりです。

公設学童クラブのうち、専用施設的那古学童及び豊房学童については、2施設ともに築10年未満、元気な広場は築12年であり、現時点での大規模修繕等の必要はないため日常的な維持管理に努めます。

■園児数減少に伴う課題

①那古、館野、豊房の幼稚園3園は、園児数が10人前後の小規模幼稚園であるため集団での教育が難しい状況となっています。小規模園では職員配置が教頭、教諭の2人であるため、職員の労務負担が大きくなっています。

幼稚園教諭の配置基準は、児童30人に教諭1人ですが、小規模園では児童10人に教諭1人となり、手厚い教育環境と捉えられますが、一方で、教諭が非効率な配置となっています。

これらの状況から、将来の園児数を見据えた小規模園の適正配置についての検討が必要です。

②純真保育園、中央保育園の2園は、木造園舎で築40年以上経過しています。

将来の市全体の保育の必要量を勘案し、他の保育園、こども園、幼稚園との統合等の検討が必要です。

■防災対策

①地震対策(耐震化)

公立幼稚園6園、公立保育園3園、公立こども園3園、合計12施設の耐震性については、全ての施設が、新耐震基準(S56)による建築又は耐震改修工事が完了しているため耐震性が確保されています。しかしながら、老朽化が進む施設が多いため、安全な保育環境を確保するために、経常的な部位修繕が必要となっています。

学童クラブ8施設のうち、専用施設的那古学童及び豊房学童は、新耐震基準

（Ｓ５６）により建築されています。他の学童クラブは、小学校の校舎内の施設であり、全ての校舎が新耐震基準（Ｓ５６）による建築又は耐震改修工事が完了しているため耐震性が確保されています。

②津波対策

館山市地域防災計画で定めた津波危険区域内に存在する施設は、純真保育園の１施設です。

純真保育園は、津波避難に支援が必要な避難行動要支援者の施設であるため、館山市地域防災計画及び館山市津波避難計画に基づく安全対策を図る他、保育機能の他施設への移転を検討する必要があります。

3 施設整備等の基本的な方針

(1) 将来のこども人数推計

区分	実績	推計値				
	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
0 歳	240	256	250	234	224	216
1 歳	256	232	247	242	226	216
2 歳	254	249	224	240	235	220
0-2 歳計	750	737	721	716	685	652
3 歳	276	251	241	222	238	233
4 歳	269	275	243	239	221	237
5 歳	293	265	266	240	236	218
3-5 歳計	838	791	750	701	695	688
0-5 歳計	1,588	1,528	1,471	1,417	1,380	1,340
比較 (H31 比)	—	-60	-117	-171	-208	-248

平成 31 年度：住民基本台帳人口（4/1）、令和 2 年度以降は推計値

(2) 教育・保育の利用見込み

■ 保育園・こども園（長時間児）の就園率

平成 31 年度		
0 歳児	1・2 歳児	3-5 歳児
13.8%	40.8%	45.9%

■ 公・私保育園・こども園（長時間児）の利用児童数の見込み（0-5 歳児）【定員 705 人】

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用児童数の見込み	634	608	588	574	558
比較（R2）	—	-26	-46	-60	-76

比)					
----	--	--	--	--	--

※令和6年度には、保育園等利用児の人数が、保育園1施設相当減少する見込み

■公幼稚園・こども園（短時間児）の利用児童数の見込み（3-5歳児） 【定員500人】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用児童数の見込み	232	220	206	204	202
比較（R2比）	—	-12	-26	-28	-30

＜データ：館山市子ども・子育て支援事業計画（R2.3策定）引用＞

(3) 施設の規模・配置計画等の基本的方針

① 公立保育園 3園

- ・市全体の子どもの人数は減少の見込みですが、短時間保育の幼稚園に比べ、長時間保育が可能な保育園のニーズは依然として高くなっています。
- ・保育が必要な子どもの将来推移を考慮しながら、老朽化施設の補修を行い、当面の間、現施設を維持します。
- ・老朽化が進み、また津波防災対策が必要な純真保育園は、園児の安全を確保できるよう対策に取り組むとともに、保育機能の移転等を進めます。
- ・中央保育園は、子育て支援を拡充するため、令和7年4月に公私連携幼保連携型認定こども園への移行を目指します。

② 認定こども園 3園

- ・市北部（船形こども園）、市東部（九重こども園）、市南部（房南こども園）に配置されており、幼児教育及び保育のニーズに対して、市の広域をバランスよくカバーしています。
- ・市全体の教育保育の必要園児数は減少傾向であり、こども園の園児数も減少が見込まれますが、当面の間、現施設を維持します。

③ 公立幼稚園 6園

- ・幼稚園は小学校区に配置されているため、「館山市学校再編基本指針」に基づく小学校の再編の動向を注視します。
- ・近年、子どもの減少に加え、長時間保育のニーズが高まっているため、北条幼稚園を除く幼稚園の利用児数は減少しています。当面は以下に留意しながら、現施設を維持します。
- ・小規模幼稚園は、令和2年に定めた「小規模幼稚園の今後の方向性」に基づき、該当する園は休園等を含む“園のあり方”について検討を行います。
- ・北条幼稚園は、子育て支援を拡充するため、令和7年4月に公私連携幼保連携型認定こども園への移行を目指します。
- ・那古幼稚園は、津波浸水想定区域内に立地している純真保育園の一部機能の移転を進めます。

④ 学童クラブ

- ・学童クラブは小学校区に配置されているため、「館山市学校再編基本指針」に基づく小学校の再編の動向を注視します。
- ・市全体の子どもの人数は減少の見込みですが、学童クラブのニーズは依然と

して高くなっています。定員拡大も検討課題ではありますが、小学校余裕教室の確保が難しいこともあり、当面の間、現施設を維持します。

⑤元気な広場

- ・子育ての不安解消を目的とし、子どもと子育て家庭の居場所づくりを継続するため、元気な広場を中心に、保護者や子どもの交流の場を提供し、子育て支援の拠点の充実とネットワーク形成に努めます。当面の間、現施設を維持します。

(4)施設別の基本的な方針

個別施設に係る今後10年間の方針を次のとおりとします。なお、当該方針は、社会情勢等の変化や個別施設の劣化状況等の変化に応じて、適宜見直します。

公立幼稚園・こども園・公立保育園

No	施設名	地区	施設の基本的な方針	
1	那古幼稚園	那古	存続 (統合)	園児は減少傾向であるが、北条、館山に次ぐ規模の那古小学校と同敷地の施設。現施設の定員及び設備を踏まえ、地区の教育保育の必要量を見ながら、現施設を維持する。また、同地区の純真保育園の一部機能の受入を図る。
2	北条幼稚園	北条	民営化 (廃止)	中央保育園とのこども園化を図り、子育て支援を拡充するため、令和7年4月に公私連携幼保連携型認定こども園として民営化を図る。
3	館山幼稚園	館山	存続	園児は減少傾向であるが、市内2番目に多い園児数の施設であるため、必要な施設改修を実施しながら現施設を維持する。
4	西岬幼稚園	西岬	存続 (休園中)	園児減少に伴い、令和2年度より休園となっている。西岬小学校と一体施設であることから、地区の教育保育の動向を見ながら、当面現施設を維持する。
5	豊房幼稚園	豊房	存続	園児は減少傾向であるが、豊房小学校と同敷地の施設。地区の教育保育の動向を見ながら、必要な修繕を行い、現施設を維持する。
6	館野幼稚園	館野	存続 (休園見込)	園児減少に伴い、保育室は館野小学校の校舎内にある。地区の教育保育の動向を見ながら、必要な修繕を行い、現施設を維持する。※令和6年度～休園予定
7	船形こども園	船形	存続	平成24年にこども園化のため施設改修を実施。市全体の保育の動向を見ながら、必要な修繕を行い、現施設を維持する。
8	房南こども園	神戸	存続	平成20年にこども園化のため施設改修を実施。市全体の保育の動向を見ながら、必要な修繕を行い、現施設を維持する。維持管理について、2階部分の管理者との協議が必要。
9	九重こども園	九重	存続	平成24年にこども園化のため施設改修を実施。市全体の保育の動向を見ながら、必要な修繕を行い、現施設を維持する。
10	純真保育園	那古	統合 (廃止)	築50年を経過し老朽化が著しく、津波危険区域内に立地しているため、当面は修繕により現施設を維持するが、令和8年度末に他園への機能移転を完了させ閉園する。

No	施設名	地区	施設の基本的な方針	
11	中央保育園	北条	民営化 (廃止)	北条幼稚園とのこども園化を図り、子育て支援を拡充するため、令和7年4月に公私連携幼保連携型認定こども園として民営化を図る。
12	館野保育園	館野	存続	築 27 年が経過し、設備が更新時期にきている。修繕や更新を行いながら現施設を今後も維持する。

※個別施設に係る方針

存続	その施設を維持すること。
統合	その施設又は別の施設の機能(一部含む)を、その施設又は別の施設に統合(一部含む)すること。
廃止	別の施設との統合の後、廃止すること

学童クラブ・元気な広場 (専用施設のみ)

	施設名	地区	基本的な方針	
1	那古学童	那古	存続	利用者が増加傾向にあるため、学校の空き教室と併用して現施設を維持する。
2	豊房学童	豊房	存続	利用者は減少傾向にあるが、一定数の需要があるため、小学校が存続する限り現施設を維持する。
3	神戸学童	神戸	存続	房南小学校校舎内の民設学童クラブ。利用者は減少傾向にあるが、一定数の需要があるため、房南小学校が存続する限り現施設を維持する。
4	元気な広場	北条	存続	来館者は減少傾向にあるが、少子化や核家族化の影響で増加している子育ての負担感を和らげるほか、子育てに関する相談や情報収集の場としての需要が高いため、現施設を維持し、長寿命化を図る。

4. 長寿命化の基本的な方針

(1) 修繕等の基本的な方針

中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストを縮減し、予算を平準化していくためには、インフラの長寿命化を図り、大規模な修繕や建替（改築）をできるだけ回避することが重要です。このため、下記①、②の考え方のもと、施設特性を考慮の上、安全性や経済性を踏まえつつ、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施します。

- ①個別施設は、「2. 施設の現況」及び「3 施設整備等の基本的な方針」を踏まえた施設の維持を図ることを基本とします。
- ②当面は、「老朽化状況と施設の点検結果」での「C評価」について、必要な修繕を行い、施設の健全度を向上させ、施設の維持、長寿命化を図ります。

(2) 建替（改修）・大規模修繕の基本的な方針

施設維持については、施設全体を作り替える建替（改修）よりも工事費が安価となる部位修繕工事を基本として施設の長寿命化を図ることとしますが、以下①～③の場合について、建替（改修）、又は大規模修繕の対応を検討します。

- ① 構造躯体の劣化が激しく、修繕に多額の費用がかかるため、将来の利用方針等を踏まえ、改築した方が経済的に望ましい場合
- ② 建物の配置に問題があり、施設の安全性が十分に確保できないなど、建替（改築）によらなければ当該施設が抱える課題を解決できない場合
- ③ 公共施設の適正配置等の地域の実情により、建替（改修）が必要な場合

(3) 施設の長寿命化の改修費（概算）

※R3.3 建築施設課提供

本計画書で前述した対象施設の「老朽化状況と施設の点検結果」を基に、今後の維持・改築に要する各施設の概算費用を下記の単価により試算しました。

※施設ごとの概算費用は別に示す。

	周期	m ² 単価
建替（改築）	80年	350,000円
長寿命化改修	40年	210,000円（改築単価×60%）
大規模改修	20年	87,500円（改築単価×25%）
部位修繕	10年以内	建物用途、部位に応じて改築単価に対する割合を設定

■標準使用年数の設定

施設の寿命を想定する指標としては、法定耐用年数が存在しますが、実際には、法定耐用年数を超えて使用する場合が一般的です。そのため、今後の施設の維持、長寿命化等の目安として、物理的耐用年数に基づく標準使用年数を次のとおり設定し、個別施設の今後の方針を決める上での参考とします。なお、設定の根拠として、（一社）日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考とし、中間値を採用します。

構造	「建築物の耐久計画に関する考え方」の範囲	標準使用年数
RC造（鉄筋コンクリート造）	50～80年	65年
W造（木造）	30～50年	40年

年次計画表

○年次計画表の見方

計画期間

- ・施設方向性：「館山市公共施設等総合管理計画」を踏まえた今後の施設方向性を記載しています。（継続的に検討・協議等を行い、内容を変更する場合があります）
- ・対策内容：施設方向性に基づく対策内容を記載しています。（内容や時期が変更となる場合があります）
- ・概算費用（千円）：対策内容に係る概算費用を記載しています。（随時、修正する場合があります）

○対策の優先順位

幼児教育・保育の基本的インフラである幼稚園・保育園・こども園については少子化の影響などを受け、利用者が減少局面に転じています。このため、これらについては、短期的には施設の維持保全に努めていく必要がありますが、中長期的には、他の公共施設と同様に施設の統廃合は避けられない状況と推測されます。今回の計画期間である、令和12年度までの期間では、津波浸水想定区域等に立地する「純真保育園」、利用者数が大きく減少している・若しくは利用者がいない各小規模幼稚園に関しては、休園に至るまでの間、施設の安全面に係る基本的な維持補修を除き、大規模な投資は行いません。

その他、方向性を「②維持保全」とした園については、適切な時期に維持保全や長寿命命のための取り組みを行っています。また、学童クラブについては、市全体の子ども数も減少の見込みですがニーズは高く、当面の間現施設を維持します。（※豊房学童については、学校再編に伴い、令和8年度末に廃止予定）

なお、那古学童の専用施設については、築10年未満であり現時点での大規模修繕等の必要はないため、日常的な維持管理に努めます。館山市元気な広場については、令和4年度に床の改修工事を実施し長寿命化を図ります。

[illegible]

施設名称		計画期間											備考		
13	那古学童	施設方向性（R3～R12）	②維持保全（維持修繕）											H29建築。築10年未満であるため、大規模修繕等の必要はなく、日常的な維持管理に努める。 那古小と船形小の統合に伴い、別途、増設予定。	
		実施年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	費用 計 （10年間）		
		対策内容	修繕	自動水栓化（114）	修繕										
		概算費用（千円）	0	114	0	35	35	35	35	35	35	35			359
14	豊房学童	施設方向性（R3～R12）	⑤用途廃止											学校再編に伴い、令和8年度末に廃止予定とする。 なお、建物は築浅のため、活用について別途検討する。	
		実施年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	費用 計 （10年間）		
		対策内容	修繕	自動水栓化(183)	修繕	廃止									
		概算費用（千円）	0	183	0	35	35	35	0	0	0	0			288
15	神戸学童	施設方向性（R3～R12）	②維持保全（維持修繕）											H28建築。房南小学校校舎の一部で、建物の健全度が高いため大規模修繕等の必要はなく、日常的な維持管理に努める。	
		実施年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	費用 計 （10年間）		
		対策内容	修繕	自動水栓化(86)	トイレ漏水修理（6）	修繕									
		概算費用（千円）	0	86	6	10	10	10	10	10	10	10			162
16	元気な広場	施設方向性（R3～R12）	③長寿命化											長寿命化に資する改修工事を実施 目標使用年数（目安）：65年に設定	
		実施年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	費用 計 （10年間）		
		対策内容	修繕	床改修工事(485) 排水原水槽設備修理工事(136) 他	修繕							屋根・ 外壁等改修			修繕
		概算費用（千円）	0	6,215	0	10	10	10	10	10	20,000	10			26,275

改訂等履歴

[illegible]